

美杉野4丁目自治会

美杉野4丁目の自治会は50件弱の所帯です。まとまりの良さを強みに、山武市のまちづくり事業に参画、暮らしやすいまちづくりに取り組んでいます。更地の区画が多く残っていることもあり、今年はず、美しいまちなみを目指して、近隣居住区も含めて、土地や庭の草刈りを年間で承って活動しています。来期は災害に強いまちを目指して防災体制の整備・充実の計画策定中、更に、共同で行動し、互いにサポートすることで、非効率・無駄のないSDGs(持続可能な開発目標)に適したまちづくりを目指します。存在意義をなかなか実感できない自治会を、皆が積極的に参加したくなる活動に発展させようと奮闘中です。



4月の公園整備での集合写真

連絡先：浜本 宏
090-8687-7452

読み語りボランティア そら

山武市を中心に、絵本やお話の世界を子供だけではなく大人の方にも、広く知ってもらえるように活動をしています。図書館、学校等での読み聞かせ、大人向けのおはなし会を行っています。その他、本に関するイベントや大人が絵本とおはなしを楽しむ会「もくもく」を毎月一回開催しています。本やおはなしをお子さんに届けるには、まず大人の方が楽しむ事が一番との思いから大人へ向けたイベントも多く企画していきたいと思えます。



パンフレット



大人のためのお話会の様子

連絡先：読み語りボランティアそら
事務局 080-5688-4670

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各団体の活動やイベントにつきましては、変更等の可能性がございます。詳細につきましては、各団体、および以下の問い合わせからご確認ください。

問い合わせ先

山武市役所市民自治支援課市民自治支援係
〒289-1392 山武市殿台 296 番地
☎ 0475(80)0151 FAX 0475(82)2107
(平日 8:30~17:15)
メール katsudoshien@city.sammu.lg.jp



山武市経済・産業活性化キャラクター
むーちゃん

山武市市民活動団体登録の詳細については、下記URLまたは山武市公式からホームページをご確認ください。

市民活動団体名簿

URL → <https://www.city.sammu.lg.jp/page/page002745.html>

市民活動団体の登録を募集します

URL → <https://www.city.sammu.lg.jp/page/page002371.html>

山武市市民交流

28号



山武市マスコットキャラクター
SUNΔシくん

サロンだより

For people who want to know about Civic Activities in Sammu City

発行：サロンだより編集部(山武市総務部市民自治支援課内)
〒289-1392 山武市殿台 296 番地

TEL:0475-80-0151
FAX:0475-82-2107
令和3年10月発行

市民活動団体のご紹介

山武市市民活動団体名簿に登録していただいた団体を前号に引き続きご紹介いたします。1・4 ページで4 団体ご紹介させていただきます。

さんむ市民活動フェスタ実行委員会

「知りあおう・つながろう・活かし合おう」を理念に、市民活動団体等が一体となって「市民活動フェスタ」を開催し、地域交流の活性化に資する山武市市民活動フェスタ事業に取り組む実行委員会です。コロナ禍によるイベント開催が不透明なため、過去12回開催のフェスタ参加の31団体のネットワークをもとに、新たな団体との繋がりを拓いていくため、インターネットを活かした企画を実証中です。令和2年度は、オンラインで11月に意見交換会を実施。2月の活動交流会はやむを得ず中止しましたが、「山武市のいいところ」を紹介するYouTube 動画番組を作成し、令和3年3月山武市ホームページへ掲出しました。

フェスタの様子はこちらから ↓



※外部リンクへつながります

連絡先：さんむ市民活動フェスタ実行委員会
(事務局：金澤 義典：i05@nifty.com)

山武市防災士協会

山武市防災士協会は、令和元年7月20日に発足した山武市内に在住・在勤の防災士資格保有者の団体です。現在の会員数は57名で、各地区の自主防災組織役員、女性消防団員、市内郵便局長が主な構成要員です。初年度は、会員のスキルアップを中心に活動し、令和元年9月・10月の台風の際は各地区において、所属団体の一員として減災に努めました。2年目は、コロナ禍で活動の縮小を余儀なくされましたが、各地区自主防災組織や学童での講習会を開催しました。今年度は、行政区の自主防災組織率を高める活動を行っていきたくと考えております。



連絡先：山武市防災士協会
事務局(消防防災課防災係)
0475-80-1116

来て見てようこそ！ 下町ゴールドクラブ コロナ禍でも元気に活動しています！

成東下町地区1～5丁目のメンバーで構成されている「下町ゴールドクラブ」におじゃましました。コロナ禍で人と会う機会がすっかり減ってしまった最近でも、とっても元気に、とっても楽しく活動されています。

【下町ゴールドクラブ】

会長(代表者): 宮野 一郎 氏

会 員 数: 55 名

加 入 条 件: 成東下町地区在住の 60 歳～

主 な 活 動: 月毎での定例会(各種講座、ポッチャ体験など)や、年2回ほどのお出かけ(県内日帰りバス旅、町内探索ウォーキングなど)、さらに忘年会、新年会を行っています。(感染症感染拡大防止のためバス旅は現在中止)

毎月の定例会では、専門家を招いているいろいろな講座や運動が行われています。また、雨の日以外の毎日で町内を巡る朝散歩など、様々な活動が行われています。

さらに、日帰りのバス旅などイベントは盛りだくさん！

クラブ運営から活動まで、すべて会員の皆さんのアイデアにより成り立っているという「下町ゴールドクラブ」。興味のある方は、是非一度遊びに来てください！

7月20日にお伺いした時の様子をご紹介します！

歯科衛生士と健康運動指導士のお二人を講師に迎え、歯の口腔衛生の講座や免疫力を高める運動を行いました。



マスクをしていると、口呼吸になってしまい、ばい菌が入るので注意・・・

バランスの良い食事のとり方の説明やタオルを使った体操など、健康を維持するための講座でした。

コロナ禍でも活動を途切れさせない工夫“部活動”

ラジオ体操と朝散歩

コロナ禍で会員たちの集まりを防げるか、安心安全の情報交流ができるか、地域のご近所付き合いを途切れさせないためにも、日常的な「部活動」を始めました。雨天時以外は毎朝6時30分からNHKラジオ体操をして、そのまま町内巡り朝散歩(1～2キロ程)を欠かさずに行っています。朝の30分の短い時間ですが、体を動かし顔を合わせ、声を交わせる心身の健康習慣予防になっています。

他にも、部活動として大正琴や健康麻雀も行っています。

日常的な少人数の集まりの部活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の面からも適していると思います。

宮野一郎会長にお話を伺いました。



人数も多く素晴らしい活動です。

現在の会員は55人。コロナ禍でなければ月に一回程度、定例会を行っています。いつも、20～30人くらい集まります。いつもの年なら、年に2回程度、日帰りバス旅にも行っています。

また、役員会も毎月行っています。コロナ禍での役員会はLINEアプリを用いての意見交換や連絡をするなど工夫をしています。各地区には連絡員を置いて、下町ゴールドクラブだよりを配りながら、会員の皆さんの意見を聞いています。それをまた役員会に持ち込んで、検討しています。



コロナ禍のこの状況下で他の団体も注目していると思います。

仕事を退職して、やはり地域貢献をしたいと思っていますけど、なかなか思うようにはいきません。だから、無理をせず、少ない人数でもできることから始めようと思ってやっています。こういう場を提供して、みんなに顔を出してもらおうことが一番大切だと思っています。



会長 宮野 一郎 氏



これからの活動について教えてください。

このクラブ事業は、昨年度までやってきて楽しんでいただけたものなど、皆さんの意見を集約して計画を立てています。もちろん、コロナ禍なので活動も流動的に、細心の注意を払って活動しています。この活動は、大きな意味で地域貢献です。旧下町明老会からの流れと土台があって、この活動ができています。興味がある方はぜひ覗いてみてください。



ラジオ体操と朝散歩活動

お揃いのタオルマフラーを付けての活動日

コロナ禍前のバス旅

編集員の声

以前は青年団、老人会などで親交を深めていましたが、コロナ禍以前から、田舎でも人とのつながりが希薄になっています。そうした中でも一度途絶えた老人会を復活させ、活動をしている下町ゴールドクラブは希少かつ、貴重な存在だと思います。参加されている方は皆さん「楽しい」という言葉を口にしていました。

お年寄りの方が少しでも外に出られるきっかけを作り、「みんなで、楽しく元気に地域を盛り上げたい！」そんな意気込みで皆さんが活動されていました。